

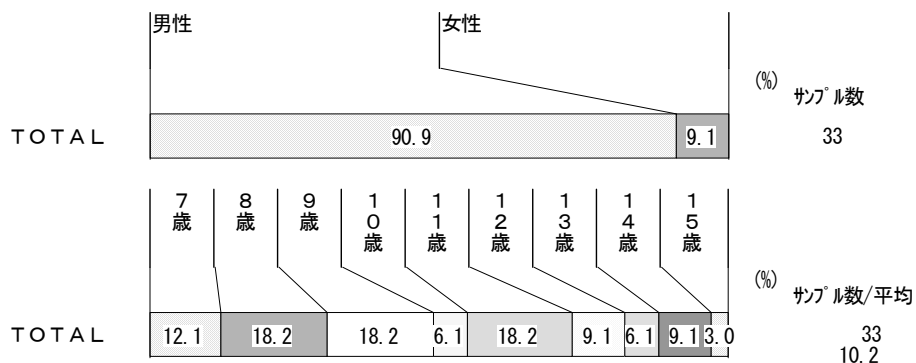
## 1 基本的な属性等

### (1) 性別・年齢

問1 お子さんの性別をお答えください。(○は1つ)

問2 お子さんの年齢(6月1日現在)を記入してください。

性別は、男性が 90.9%、  
女性が 9.1%。

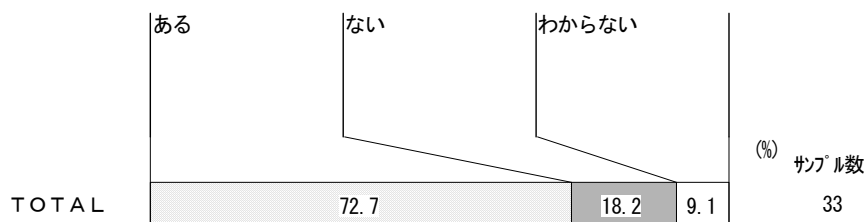


年齢は、7歳から15歳まで、  
平均年齢は10.2歳。

### (2) 発達障害の診断の有無

問3 お子さんは、これまでに「発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)」と診断されたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

72.7%の人が発達障害と  
診断されたことが「ある」  
と回答している

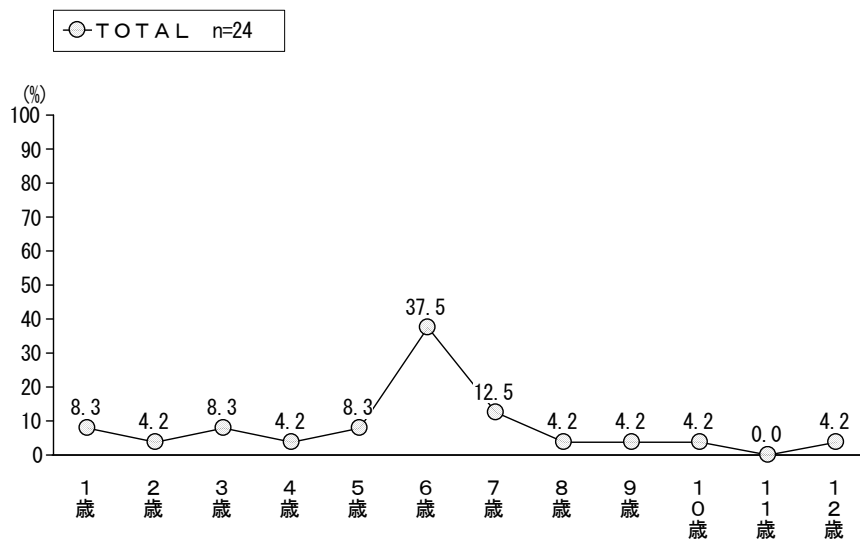


### (3) 発達障害の診断・判断を受けた年齢・きっかけ

問4 問3の診断・判定を受けたのは何歳の頃ですか。

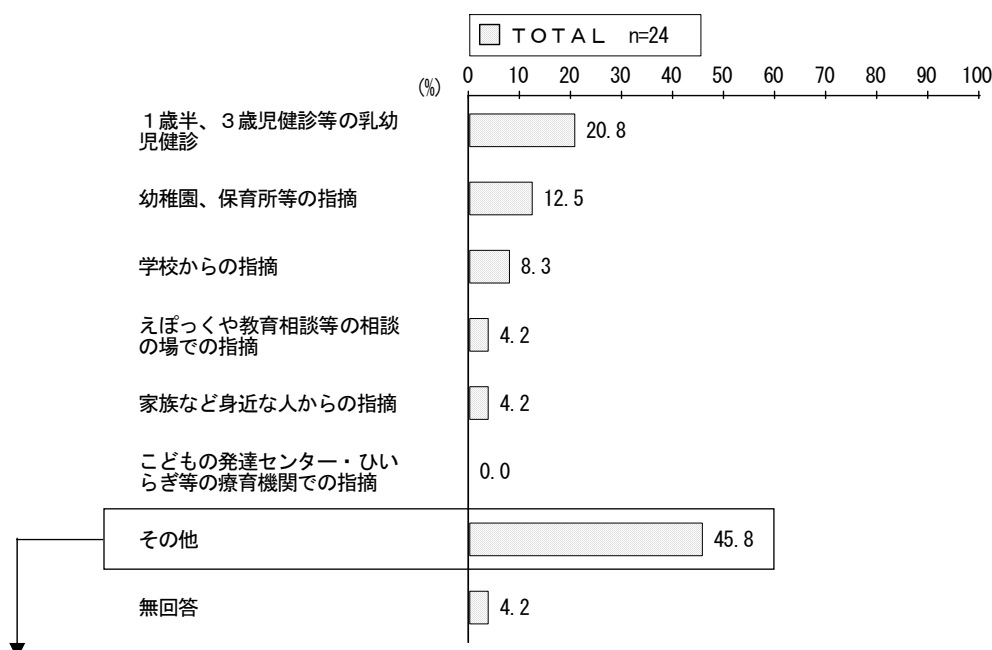
問5 お子さんが発達障害ではないか考えるようになったのは、どんなきっかけでしたか。(○はいくつでも)

発達障害の診断・判定を  
受けた年齢は、「6歳」が  
37.5%と最も多い。



## 【通級指導学級】

お子さんが発達障害ではないかと考えるようになったきっかけは、「1歳半、3歳児健診等の乳幼児健診」が20.8%、「幼稚園、保育所等の指摘」が12.5%となっている。



「その他」としては、具体的に次のような内容があった。

- ・ 上の子との比較。まわりの子との様子。(公園、幼稚園など)(男性・12歳)
- ・ 子どもの様子を見て。(男性・11歳)
- ・ 他児との比較(男性・7歳)
- ・ 病院で。(男性・8歳)
- ・ 集団生活になじめないので。(男性・11歳)
- ・ 兄が指摘された時、似ている部分があったので気付いた。(男性・12歳)
- ・ 日常生活の中で2歳半ごろ。(男性・15歳)
- ・ 運動会などの行事で、一人だけ歩き回っているのを親が見たとき。(男性・8歳)
- ・ 子育てをされていて。(男性・11歳)
- ・ ふだんの生活から。育児しづらい面から。(男性・9歳)
- ・ 幼稚園での様子を見て自分でおかしいと思った。(男性・8歳)

### (4) 日常生活を送る上での困難さ

問6 日常生活を送る上でどのような困難がありますか。

日常生活での困難さについて、自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

- ・ 友人関係が上手にできない。集中力の持続ができない。癇癪を起こす。(男性・7歳)
- ・ 人とのコミュニケーションをはかるうえで、人との距離感がわからず、相手にイヤな思いをさせてしまうこと。テスト等で時々何を聞かれているのか、わからないこと。(男性・14歳)
- ・ 友だちの気持ちを推し量ることが苦手で、状況を考えずに帰ってきてしまう。(男性・11歳)
- ・ 友だちとうまくすごせない。ストレスに弱くイライラしてしまう。(男性・7歳)
- ・ 他の人とのコミュニケーションが苦手。(女性・11歳)

- ・ 同世代とのコミュニケーションがうまくできない。(特に休み時間、グループ活動等) (男性・7歳)
- ・ 会話が一方的になりやすく、お友だちとの関係がうまくいかない。(男性・12歳)
- ・ 学校(教室)で先生からの全体支持が通りにくい。(男性・7歳)
- ・ 口頭での指示を聞いて理解や行動することが遅い(苦手)。「あれ」「それ」「さっき」などの言葉はどれを指すのか迷う。同時に物事をできない、優先順位がわからない。(男性・12歳)
- ・ 質問の意味がわからなかったり、答え方がわからなかったりして、話がかみ合わない事がある。沢山の指示だと忘れてしまう。大勢の人に対して話をする聞きとれない。(女性・14歳)
- ・ 宿題・勉強を全くやらない。集中力は(好きな事のみ)のみに困る。場の空気を読めず、ダメなところで目立つ行意をするなど。(男性・13歳)
- ・ 指示が通らない、返事をしない、人の真似をして作業ができない。イヤな事をするのになかなか気持ちを切り替えられない。何度も同じ事で注意される。(男性・8歳)
- ・ 集中すること、片付けること、たくさんの指示を一度に行なえないなどのことから、勉強の遅れ、その他に支障が出ています。(男性・9歳)
- ・ なかなか新しい事に挑戦できず、ほんの少しの失敗でくじけてしまう。くじけるとなかなか立ち直れない。字を書く事が遅かったり、物を見付けるのが苦手、辞書を引くのが苦手だったり、作文が書けない。泣く、パニックになる。(男性・11歳)
- ・ 行動の切り替えがすぐにできない。時間の意識が低く、守れないことがある。(男性・10歳)
- ・ 物事の切りかえが悪く、同じことを自分が納得するまで言い続けるので、終わった話でもしつこく我を通してくるときが本当に大変です。(男性・11歳)
- ・ 大きな音に過敏(音楽を使ったレクリエーション、体育館での集会等が苦手)(男性・7歳)
- ・ 学校など大勢の中でいろいろな音が気になり集中できない。時計(針)が読めない。(男性・11歳)
- ・ 自分がどのような状況にいるか説明する力が、普通の幼稚園児にも劣る。(男性・15歳)
- ・ 家庭生活の上では、時間のきりかえができないところが多少困っています。(男性・10歳)
- ・ 生活習慣を身に付けることが、なかなかできない。(女性・11歳)
- ・ 身近の物に気がまわらず、持ち物の管理ができない。物をよくなくす。目先の物ばかり気になり、先の見通しが出来ずパニックになる。(男性・9歳)
- ・ 学校での連絡事を覚えてない、忘れ物が多い。片づけができない。偏食(男性・8歳)
- ・ 気が散って集中できない。宿題に2時間かかる。・じっとしてられないので、常に1歳児前後のように見守らなくてはならない。(男性・9歳)
- ・ 日々早とちりをしてしまう。きんちょうすると空間がゆがんで見える。(男性・11歳)
- ・ 状況にかかわらず、話しつづける。わからないことがとパニック状態になり、ものを投げたり、乱ぼうになる。(男性・12歳・)
- ・ 外出時、ささいな理由で興奮したり、パニック状態になりやすく、周囲で制止しにくい。本人はパニックになると記憶がなくなっている。(男性・13歳)
- ・ 場違いな言動で他人から失笑をかうことがある。(男性・14歳)
- ・ 親が叱りすぎてしまう。本人のがんばりを認めてあげられる余裕がない時がある。(男性・8歳)
- ・ 同じ事を何度も言わないとならないので、ついつい怒りがちになってしまうこと。(男性・8歳)
- ・ 夫の理解、協力を得られないこと。常に追われてしまうこと。(男性・8歳)
- ・ 見た目には健常児(健康児)なのに、年齢にはそぐわない態度(落ち着きのなさ、だらしない格好、手づかみで食べる、パンツ見えても平気など)で、しつけしてないと思われる。(男性・9歳)
- ・ 子どもをあずかってくれる所がなく、いつも2人でるすばん。(男性・8歳)

## 【通級指導学級】

- ・ 学校の授業（特に算数）の理解力がゆっくりであること。（女性・8歳）
- ・ 言葉の表現力が少し遅れている。（女性・8歳）

### （５）日常生活で困難があるときに必要とする支援

問7 上記のようなときに、どのような支援があるとよいと思いますか。

困難に直面した際に必要とする支援について、自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

- ・ 通級にも通っているので、そこをお願いしたいと思います。（男性・14歳）
- ・ 学校で宿題を終えてくる。（放課後指導）（男性・9歳）
- ・ 学校などで忘れ物、持ち物への声かけを小まめにしてほしい。（男性・9歳）
- ・ 放課後の通級。（男性・9歳）
- ・ 時間を十分にかけて、本人の言葉を引き出す必要性を理解してくれる周囲の先生方の手助け。（男性・15歳）
- ・ 補助担任の先生等の見守り（必要なときは声かけ）が本当に助かります。授業中だけでなく、長い休み時間も大人の目があり、状況を見守っていただければと望んでいます。（男性・7歳）
- ・ 今は学級の先生一人で大丈夫ですが、もう1人学習支援員の先生がいらっしゃると、もっと色々な事ができたり、本人も困らないと思いました。（男性・11歳）
- ・ 入試の時に、空間に慣れるまでの時間を余分に入試時間にプラスして欲しい。アメリカの方では、そういった処遇をしてもらえるそうです。（男性・11歳）
- ・ 状況に応じて、やって良いこと、悪いことを、何でも教えつづける。パニックになった時、どうしたらよいか、いくつかのパターンを準備し、落ちつけるようにする。（男性・12歳）
- ・ 冷静になれるように働きかけてほしい。（男性・13歳）
- ・ 視覚的に示す→書いてもらう。本人を注目させてから教えてもらう。ゆっくり言ってもらう。具体的に言ってもらう（男性・12歳）
- ・ 他の子より1度多く伝えてくれたり（本人に対しだけ）、簡潔に書いたメモ、プリントを渡してくれる様な、サポートしてくれる人や物があるとよい。（女性・14歳）
- ・ デジタル表示の時計の設置。又は持込ができると良い。（男性・11歳）
- ・ 視覚からのわかりやすい情報。時間を守ったり、切り替えを早くしたほうが良いことを教える。（男性・10歳）
- ・ 第三者のプロの指導者が対応していただくのが良い。家では母（私）と1対1なので、話をしても話が見つからない時がある。きちんと順序良く話を聞いてくれるときは解決します。（男性・11歳）
- ・ どのような支援があれば日常生活が送れるか分からないので現在試行錯誤しています。（男性・7歳）
- ・ 支援は難しい状態だと思う。（男性・14歳）
- ・ もう何年も同じ事で困っているので、もう分からない。（男性・8歳）
- ・ その場によって、きちんと説明をし、言ってきかせる事。（男性・13歳）
- ・ どうすればいいか見通しつく声掛けや援助。良いところをすぐに認め自信につなげる。（男性・7歳）
- ・ こうすると良くなった等の情報が欲しいです。（男性・8歳）
- ・ コミュニケーションの指導があると良いと思います。寸劇を取り入れ、見たり体感することで相手の気持ちを理解できるような体験を積み重ねてほしいです。（男性・12歳）
- ・ 行政だけでなく、メディアで発達障害（わかりやすい自閉やアスペルガーではなくて）、一見する

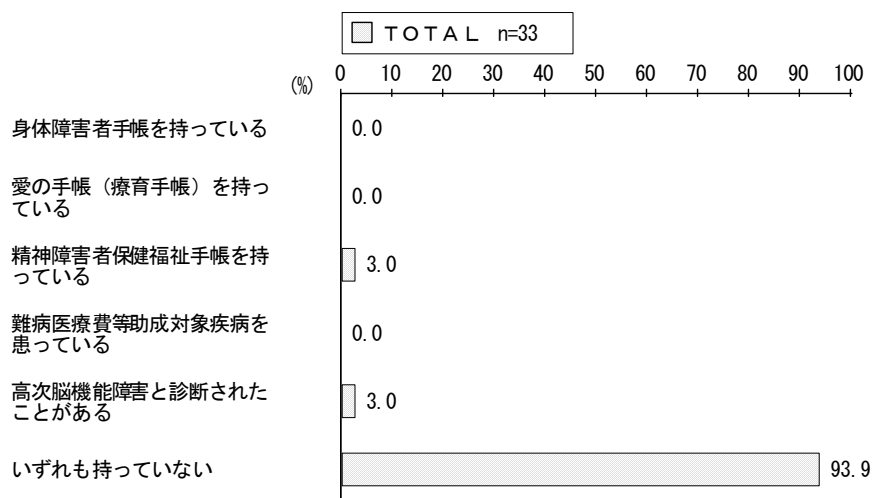
と健常児だけど、ADHD、PDD などこんな子もいるんだということが周知されれば、周りもこういう子を見かけた時、しつけではなく〇〇障害なのかなと暖かく見てくれるかも。(男性・9歳)

- ・ 支援よりも先に周囲の理解が欲しい。支援を受ける際の統一窓口が欲しい。(女性・11歳)
- ・ グレーゾーンの子どもは子どもをあずかってくれる所がない。(男性・8歳)
- ・ 親が余裕を失ったときの子どもの居場所、また家族支援の場が増えてほしい。(男性・8歳)
- ・ 母親の心のケアをしてくれるところ。心を休める場所がないが、マヒしている、させているので、いつか爆発するのではと常に不安です。(男性・8歳)
- ・ 授業をフォローしてくれる専門の先生がいると助かると思います。在学に通いながら、その時間外で塾のように通えたら良いと思う。先生と1対1が良いです。(女性・8歳)

#### (6) 障害者手帳の取得状況等

問8 次のうち、お子さんにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)を持っている人はなく、精神障害者保健福祉手帳を持っている人は1名である。

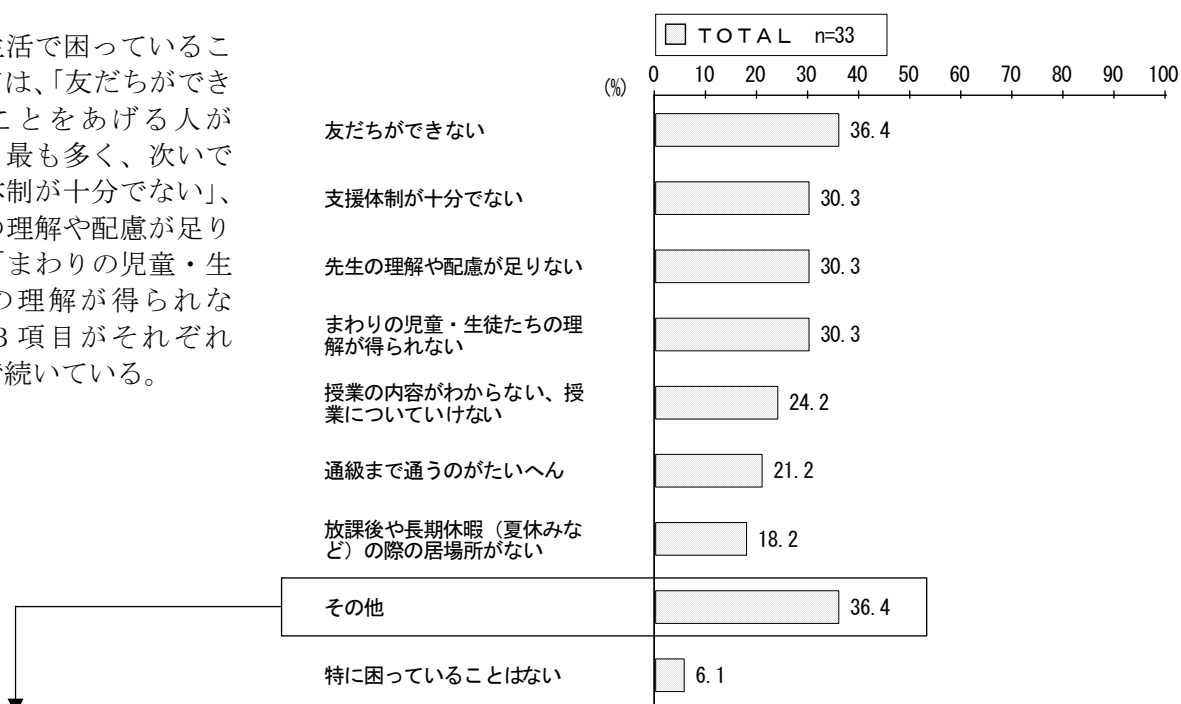


## 2 学校について

### (1) 学校生活で困っていること

問9 学校生活の中で、お子さんが困っていると思われることはありますか。(○はいくつでも)

学校生活で困っていることとしては、「友だちができない」ことをあげる人が36.4%と最も多く、次いで「支援体制が十分でない」、「先生の理解や配慮が足りない」、「まわりの児童・生徒たちの理解が得られない」の3項目がそれぞれ30.3%で続いている。



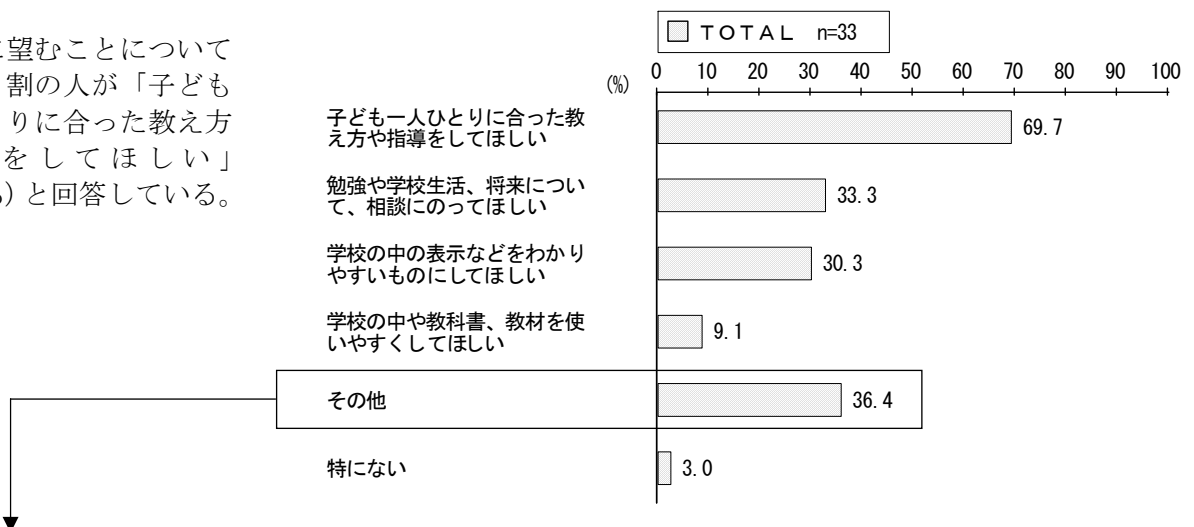
「その他」としては、具体的に次のような内容があった。

- ・ 自分の考えや気持ちを相手に伝えることができない。(男性・7歳)
- ・ 友だちともめ事になる事が多い。(男性・9歳)
- ・ 言葉が不自由なことによる対人関係のトラブル。(男性・7歳)
- ・ 学校の宿題に毎日大変な時間がかかっている。パニックをおこす。(男性・11歳)
- ・ 物を失くしてしまう。LDのため漢字が読めないことがある。(男性・10歳)
- ・ 先生は悪い子という思いが先にあるのか、何かあると理由も聞かず怒るので、何度も心に傷を負っています。先生が嫌いと言っています。(男性・11歳)
- ・ 思い通りにならない時にかんしゃくを起こしてしまう。(男性・7歳)
- ・ 生徒たちの理解は大人の伝え方で変わる→良くも、悪くも。(男性・12歳)
- ・ 子どもが困っているというよりも問題行動があったときに担任の先生に負担が多くかかってしまうのを改善できればと思います。(男性・8歳)
- ・ 通級していることをまわりに知られたくないと本人の気持ちが強い。(いじめられた事があるため)(男性・12歳)
- ・ 本人は在学校へ毎日行きたがっている。仲良しの友人に会いたいし、授業を休んでしまうので、本人も母も在学校へ行かない日が週に一回あるのは困る。(女性・8歳)

## (2) 学校教育に望むこと

問 10 あなたが、学校などに望むことはどのようなことですか。(○はいくつでも)

学校に望むことについて  
は、約 7 割の人が「子ども  
一人ひとりに合った教え方  
や指導をしてほしい」  
(69.7%) と回答している。



「その他」としては、具体的に次のような内容があった。

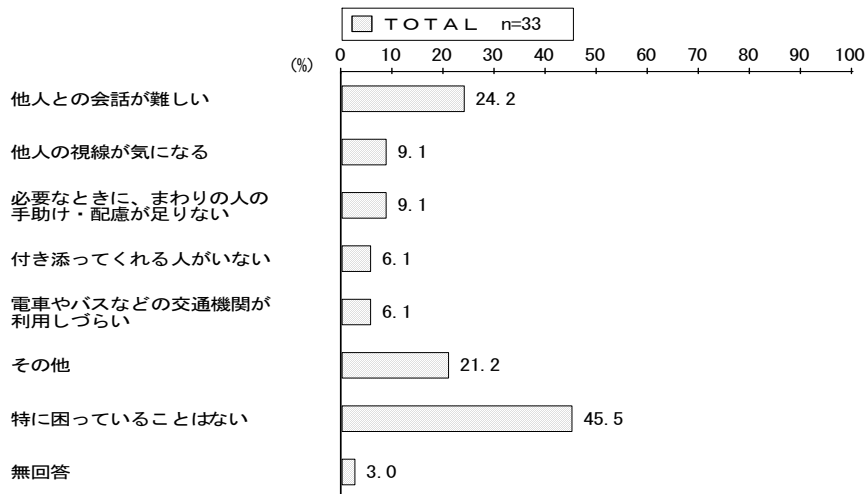
- ・ 学校での生活は先生の理解で成り立つので、もしできないのであれば外部からの支援を受け入れて協力してやってほしい。(男性・12歳)
- ・ 先生の(学校)移動が多すぎて、その度にいろいろ説明や理解を求めなくてはならない。それは通級でも同じです。(男性・9歳)
- ・ 先生は相談にのってくださるが、先生自体が今の学校は忙しすぎて、何となく相談しづらい。(男性・11歳)
- ・ 学校によるのかもしれないが、特別支援教育コーディネーターの制度が機能するようにしてほしい。(機能しているようには思えない)(女性・11歳)
- ・ クラス内での生徒の様子に目を配る意欲と能力のある教員の増配。(男性・15歳)
- ・ 補助担任の配置(クラスに一人でも可なので)(男性・7歳)
- ・ 障害名の有無にかかわらず「困っている子」の支援を(小さなことでも)できるようにしてほしい。(男性・8歳)
- ・ 通級の日の授業内容を取り戻すのが大変。(男性・8歳)
- ・ わからない教科の補習授業を義務付けてほしい。(女性・14歳)
- ・ 忘れ物チェックや連絡チェックの配慮をしていただけたら本当に助かります。(男性・8歳)
- ・ 教科書にルビがふってあると助かります。(男性・11歳・ある)
- ・ 授業中や教室移動の指示を、段取りを追って的確に言ってほしい。(男性・9歳)
- ・ 支援ツールが必要な子には、ツールを使うことを理解し許可してほしい。(タブレットやホワイトボードなど)(男性・7歳)
- ・ 高学年には障害についての啓蒙、学習活動。(男性・7歳)
- ・ 通級に対する子どもたちの偏見がなくなるよう、小さい頃からの教育をしてほしい。(男性・12歳)

### 3 外出や社会参加について

#### (1) 外出の際に困っていること

問 11 お子さんが、外出の際に困っていると思われることはありますか。(○はいくつでも)

外出の際に困っていることは、45.5%の人が「特にない」と回答しているが、24.2%の人は「他人との会話が難しい」ことをあげている。

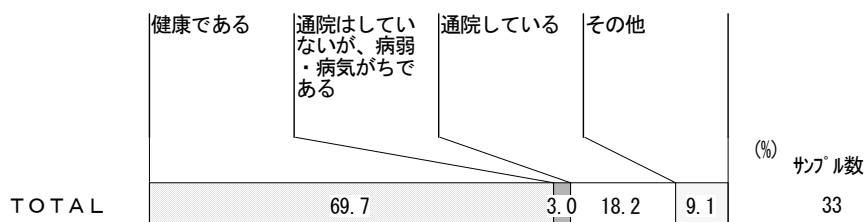


### 4 健康状態や医療について

#### (1) 最近の健康状態

問 12 お子さんの最近の健康状態は、次のうちどれにあてはまりますか(発達障害以外の一般の疾病(風邪など)も含む。)。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

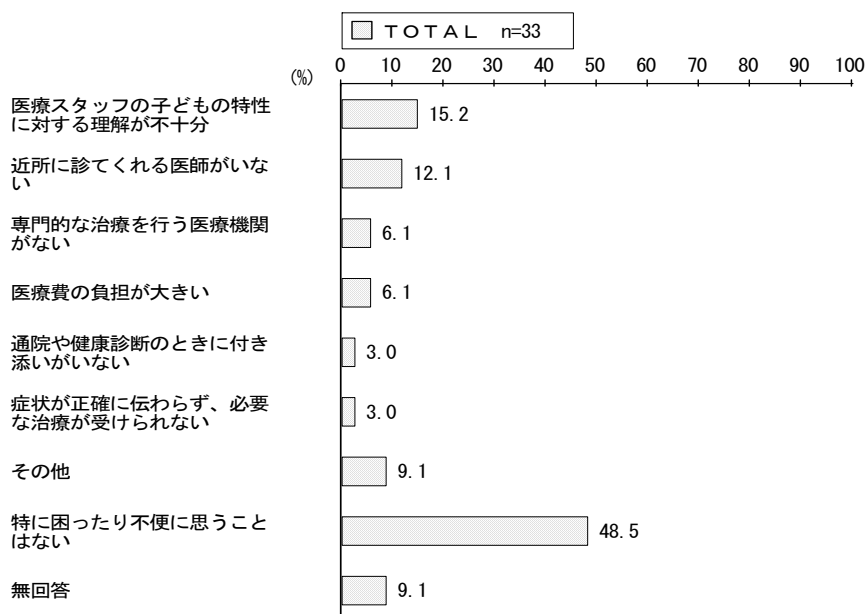
最近の健康状態については、約7割の人が「健康である」(69.7%)と回答している。



#### (2) 健康管理や医療について困ったり不便に思うこと

問 13 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(○はいくつでも)

健康管理や医療について困ったり不便に思うことについては、48.5%の人は「特にない」と回答しているが、15.2%の人は「医療スタッフの子どもへの特性に対する理解が不十分」なことをあげている。

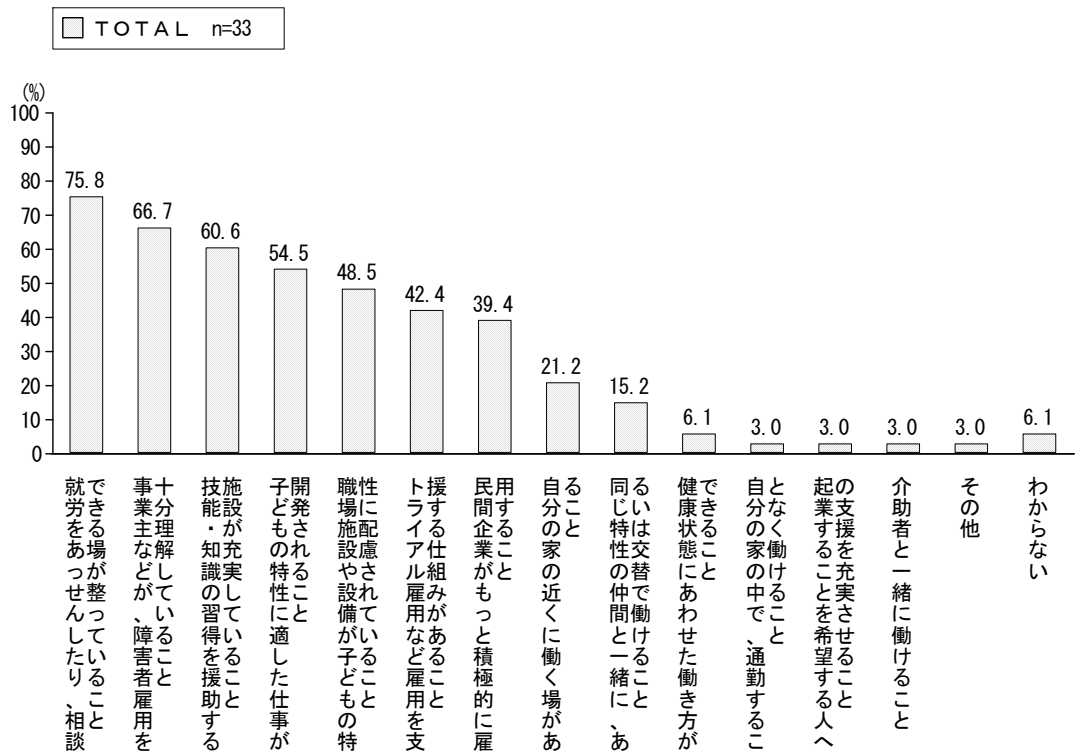


## 5 雇用・就労について

### (1) 障害のある人が働くために必要な環境・条件

問 14 お子さんが今後社会に出たときに、働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今後、働くために整っていることが大切な環境・条件としては、「就労をあっせんしたり、相談できる場が整っていること」をあげる人が75.8%と最も多く、次いで「事業主などが、障害雇用を十分理解していること」(66.7%)、「技能・知識の習得を援助する施設が充実していること」(60.6%)と続いている。

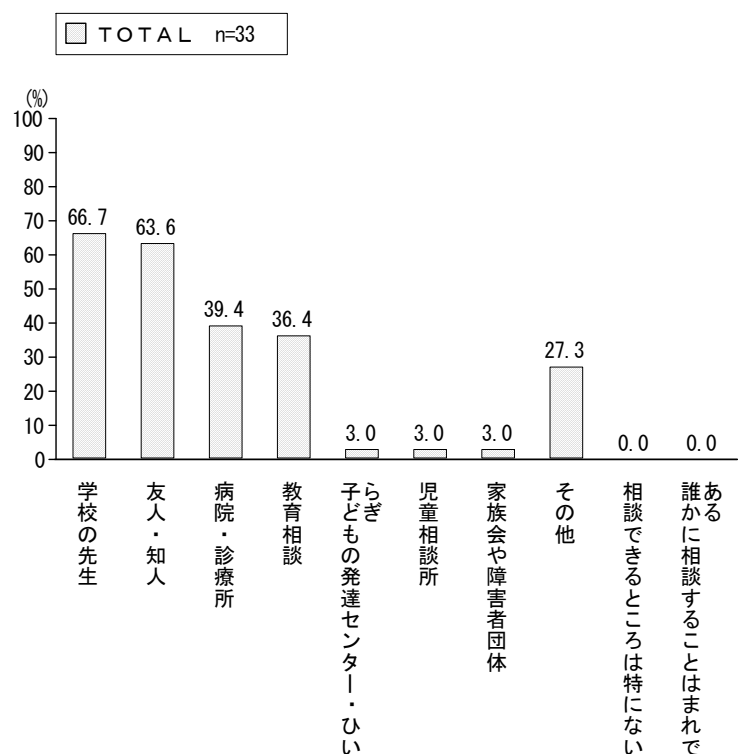


## 6 相談や情報入手について

### (1) 悩みごとや心配ごとや、困ったときの相談先

問 15 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「学校の先生」(66.7%)と「友人・知人」(63.6%)をあげる人がそれぞれ6割を超え、多くなっている。なお、「相談できる場所は特にない」と回答した人はいなかった。



(2) 希望する相談先や相談体制

問 16 悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外では、どこに相談したいですか。また、相談するためには、どのような体制が整っているとよいと思いますか。

希望する相談先や相談体制について自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

① 相談先

- ・ 傾聴ボランティアさんが身近にいてくれればと思う。発達障害や親子、家族関係に理解のあるカウンセラーさんが増えてほしい。(男性・8歳)
- ・ 通級の先生、学校カウンセラーに相談しています。病院の医師はほとんど相談にのれませんので、幼児期だけでなく、「ひいらぎ」などがもっと青年期までの相談、療育をしていただけるとありがたいです。(男性・11歳)
- ・ 専門知識のあるスタッフ。自治体の支援。(男性・7歳)
- ・ 子どもへの心理療法、指導。家族への心理療法の指導、カウンセラー。(男性・9歳)
- ・ 同じ悩みを持つ親同士。子どもを理解してくれている通級の先生。親同士集まりやすいサロンのような場と時間が用意されていると集まって情報交換しやすい。(男性・12歳)
- ・ 発達障害の特性を詳しくわかっていてくれるところ。子どもの特性を理解してもらえるまで、時間がかかるので継続して通えるところがあるとよい。(男性・9歳)

② 相談体制

- ・ 教育相談でも良いのですが、学校の対応でこちらがかなり厳しい状況になっても、ただ聞いてくださるだけなので、もう少し状況が良くなる様に動ける、働ける体制を整えてほしいです。(男性・8歳)
- ・ 相談する窓口が、悩みによってハッキリ別れていて直通ですぐ相談できると助かると思います。以前、教育相談に電話した時に、あっちこっち回って何度も同じ話を話し、それだけでヘトヘトになってしまった経験があったので、すぐに話が通じればよいと思う。(女性・14歳)
- ・ 専門知識を持った方がいればどこでも良いのですが、障害を持つ子ども達の親が気軽に話し合う場があると良いと思います。(子どもを預ける事ができると嬉しいです)(男性・11歳)
- ・ 同じ様な特長をもつ子の親同士の交流する場が欲しい。(男性・11歳)
- ・ どこに相談したい、というのはないが、統一、一ヶ所の窓口で相談すると、内容にそくした病院や、カウンセリング施設の紹介を受けられるような体制が欲しい。(女性・11歳)
- ・ 引っ越ししたり、年齢が上がったりすると、それまでの相談者となつがりがなくなるので、国内ならどこへ行ってもそれまでの情報が共有でき(一から話し始めるのは大変)、成人後も必要に応じて、引き続き相談できる体制がほしい。(男性・13歳)
- ・ 一人一人特性がちがうので、子どもと一緒に相談できるのがベストだと思う。子どものことを知っている人に相談できるのが望ましいと思う。(男性・14歳)
- ・ 公民館や市役所に気軽に行けるといい。同じような悩みを持つ人たちと話せる場があると、安心するのでは。(男性・10歳)

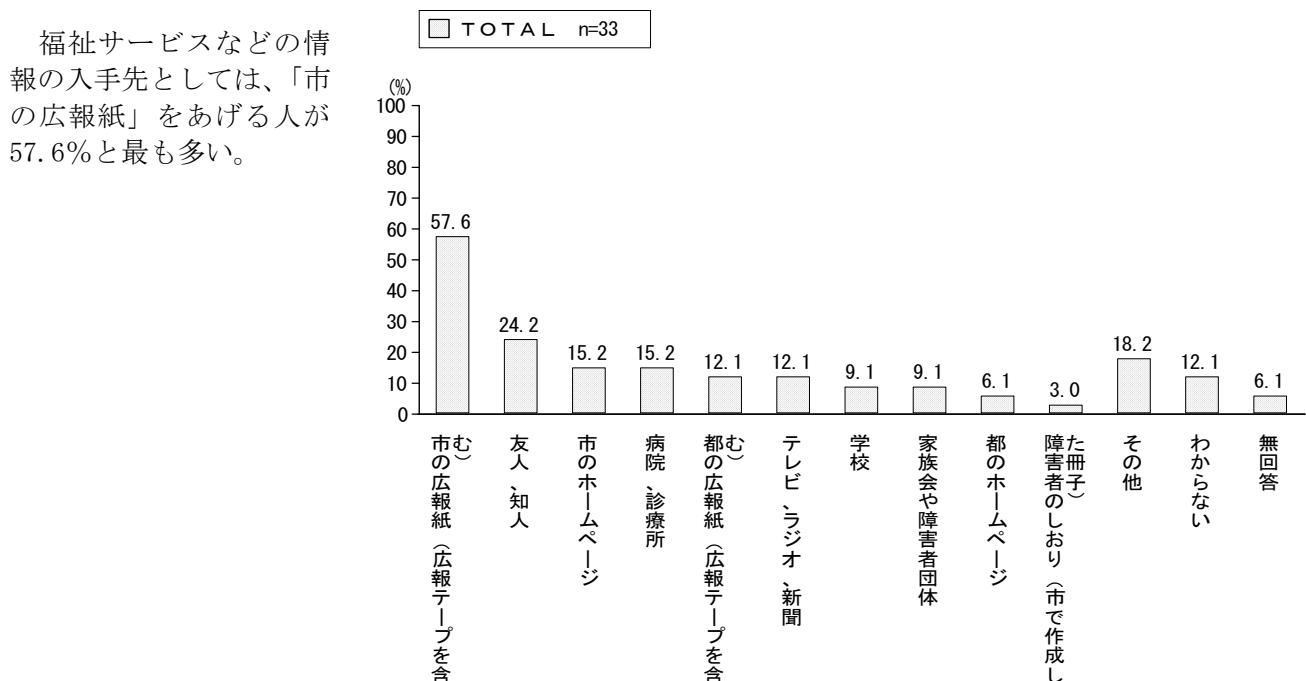
③ その他

- ・ どこに相談したら良いのか分からない。体制が整っているのかすら分からないので、明確な資料等の配布を希望します。(男性・7歳)
- ・ 子どもの特性を理解している人があまりいない。マニュアル通りにやってもダメだったからみんなこまっているのです。本なんて、親は皆読んでいます。ネットも沢山調べています。(男性・8歳)
- ・ どこでも良いので気軽に話せることが大事だと思います。(男性・9歳)
- ・ 学校にてしおりなどを配る。専門の人に直に問い合わせできること。(男性・12歳)

- ・ 子どもについては学校の先生に相談したいというのが本音です。何をしてほしいかは別として親の知らない部分を知っている大事な情報です。しかし先生が代りすぎる為、1年間しか持たない場合は、ちゃんと見る気（子ども一人一人を）があるのかと疑問に思います。（男性・9歳）
- ・ 通級しているそよかぜや通院している病院に相談し、自分なりに総合し悩みを解決しているので、担任は理解があるように対応するが、本当に理解しているように思えず、一番は担任が頼りになると良い。分からない指導があると、心が折れるほど苦しい思いをしました。（男性・11歳）
- ・ 親同士集まりやすいサロンのような場と時間が用意されていると集まって情報交換しやすい。サークルを作って公民館に登録して予約を取って…とするのはハードルが高いです。市で毎月などサロンを開催してほしい。（男性・12歳）
- ・ 病院に行っても、診察して先生に話しても薬をもらっての繰り返し。子どもの気持ちをどう考えているのか。親はどうしたらいいのか。子の大変さをどうしたらいいのか悩み相談。（男性・9歳）

### （３）障害福祉サービス等の情報の入手先

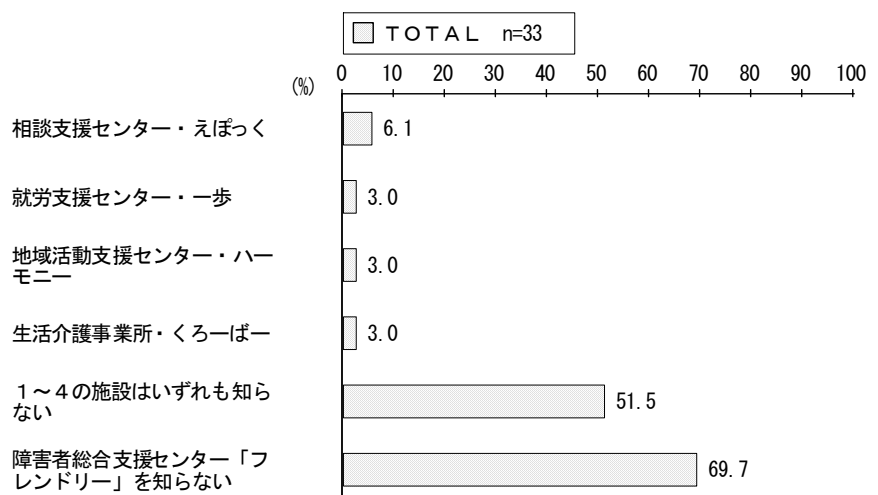
問 17 あなたは、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）



### （４）フレンドリー内施設の認知状況

問 18 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」にある次の施設を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

約7割の人は「障害者総合支援センター「フレンドリー」を知らない」と回答している。



## 7 福祉サービスについて

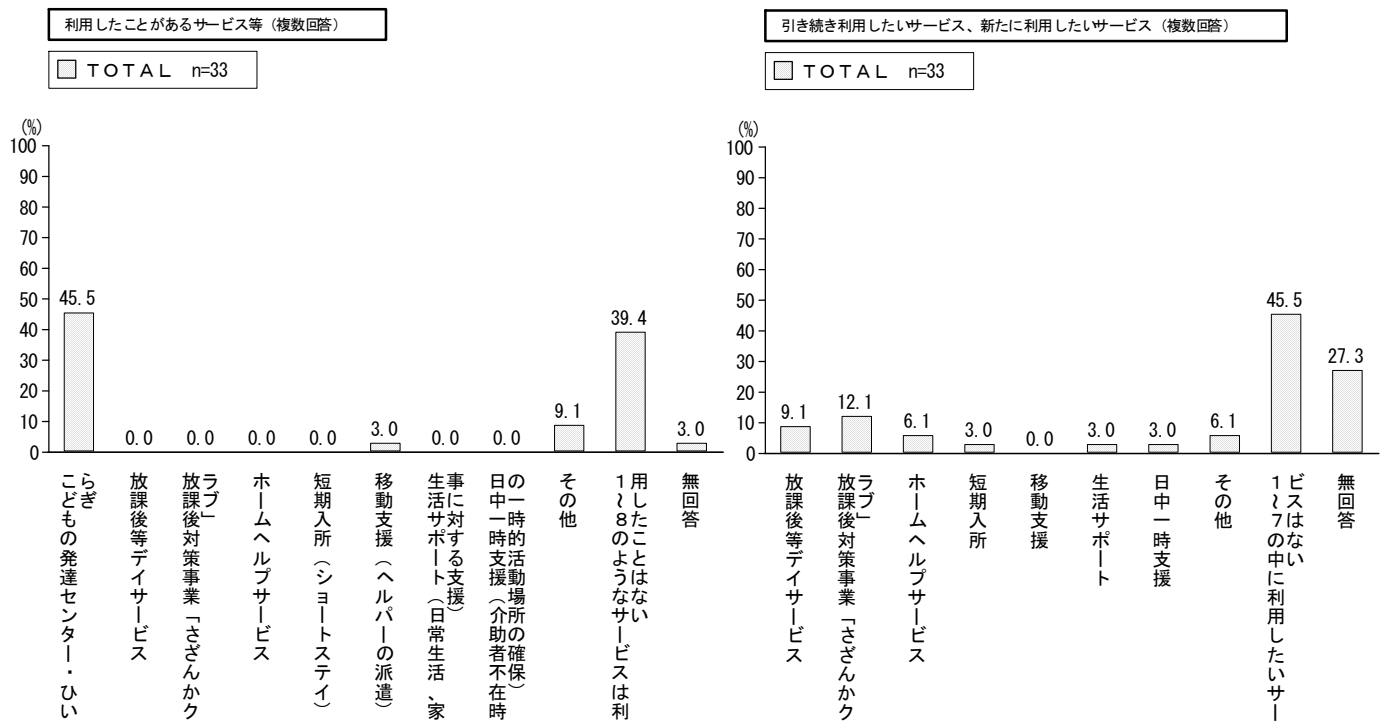
### (1) 福祉サービスの利用経験・利用意向

問 19 お子さんは、今までに次のサービス等を利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問 20 次のサービス等の中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今までに利用したサービスとしては、「こどもの発達センター ひいらぎ」が45.5%と最も多い。

「放課後対策事業「さざんかクラブ」」については、利用したことがある人はいないが、12.1%の人は今後新たに利用したいと考えている。



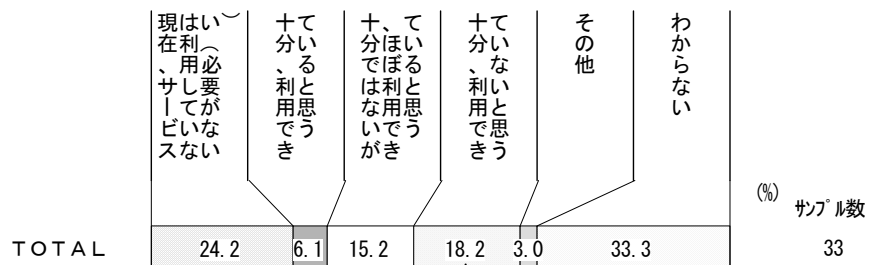
### (2) 必要なサービスの満足度

問 21 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

問 22 「十分、利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

18.2%の人が、必要だと思うサービスを「十分、利用できていないと思う」と回答している。

十分利用できていないサービスは、「放課後等デイサービス」等である。



|      | 放課後等デイサービス | 放課後対策事業「さざんかクラブ」 | ホームヘルプサービス | 短期入所(ショートステイ) | 移動支援(ヘルパーの派遣) | 生活サポート(日常生活、家事に対する支援) | 日中一時支援(介護者不在時の一時的活動場所の確保) | その他   |
|------|------------|------------------|------------|---------------|---------------|-----------------------|---------------------------|-------|
| n=6  | 2          | 2                | 1          | 1             | 2             | 2                     | 2                         | 2     |
| 100% | 33.3%      | 33.3%            | 16.7%      | 16.7%         | 33.3%         | 33.3%                 | 33.3%                     | 33.3% |

### （３）必要なサービスを十分利用できていない理由

問 23 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

問 24 必要とするサービスとはどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

必要だと思うサービスを十分できていない理由としては、6人中4人が「必要とするサービスがないから」（66.7%）、3人が「利用の仕方がわからないから」（50.0%）、1人が「自己負担が大きく、利用できないから」（16.7%）と回答している。

さらに、「必要とするサービスがないから」と回答した4人に、必要とするサービスの内容を尋ねたところ、以下のサービスがあげられている。

- ・ 療育機関 4人
- ・ 日常生活のスキルを身につける支援 4人
- ・ 発達障害専門の医療機関 3人
- ・ 発達障害に関する専門相談機関 3人
- ・ペアレント・トレーニング等の支援 3人
- ・ 子育てについての相談支援機関 2人
- ・ 子どもを預けられる場所 1人

### （４）障害福祉課窓口の満足度

問 25 障害福祉課の窓口利用（保谷庁舎・田無庁舎）についてお聞かいたします。職員の応対や相談環境などについて満足していますか。（○は1つ）

問 26 問 25 のようにお答えになったのは、どのような理由からですか。

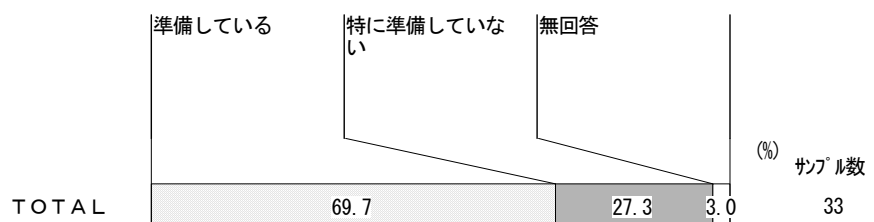
障害福祉課の窓口利用については、33人中30人が「（利用していないので）わからない・覚えていない（無回答含む）」と回答しており、残り3人のうち1人は「とても満足している」、2人は「まあ満足している」と回答している。

## 8 災害対策について

### （１）災害への備え

問 27 災害に備えて何か準備をしていますか。（○は1つ）

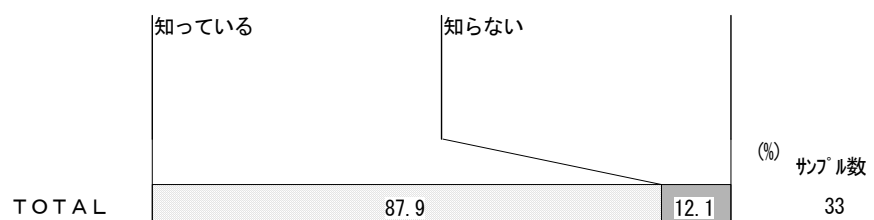
災害に備えて何か「準備している」人は約7割（69.7%）である。



### （２）避難所の認知状況

問 28 避難所を知っていますか。（○は1つ）

避難場所を「知っている」人は87.9%である。

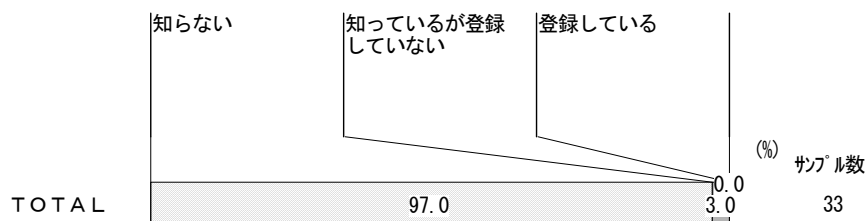


【通級指導学級】

(3) 災害時要援護者登録の認知状況

問 29 災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

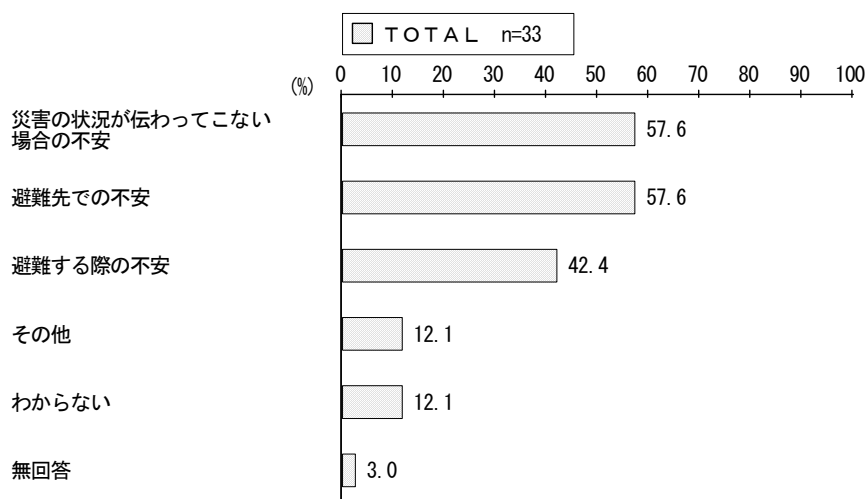
災害時要援護者登録については、97.0%が「知らない」と回答している。



(4) 地震や台風などの災害が起こった際の不安

問 30 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

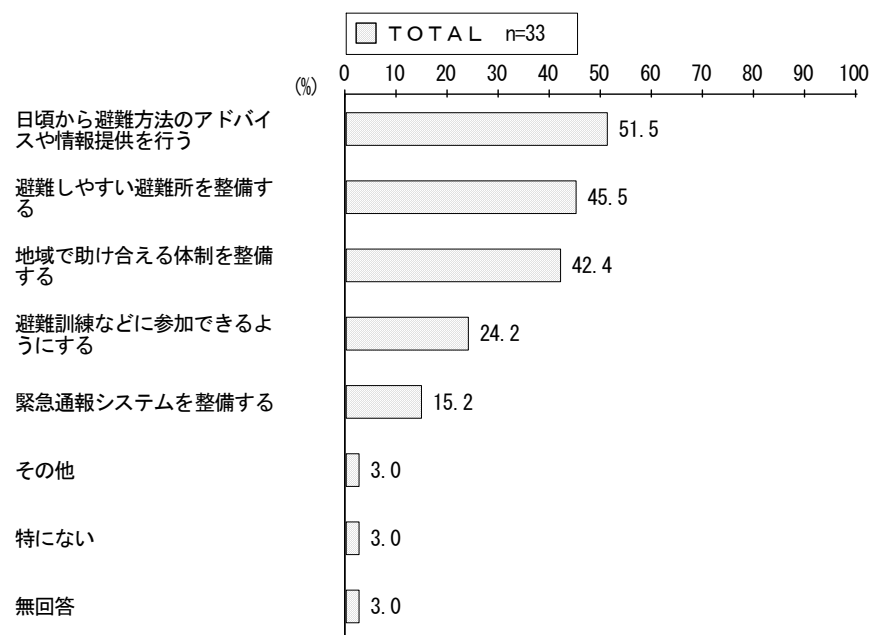
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」と「避難先での不安」をあげる人がそれぞれ 57.6%と多くなっている。



(5) 必要な災害対策

問 31 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

災害に備えて、または災害時に必要な対策としては、「日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う」ことをあげる人が 51.5%と最も多く、次いで「避難しやすい避難所を整備する」(45.5%)、「地域で助け合える体制を整備する」(42.4%)と続いている。



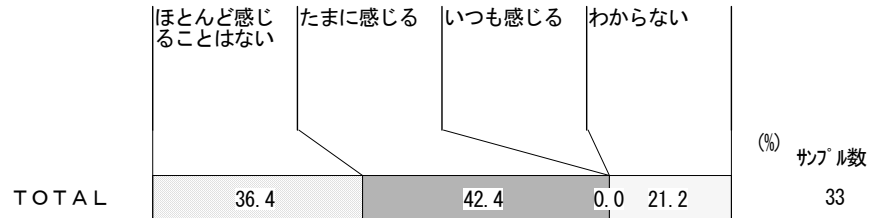
## 9 差別や人権侵害について

### (1) 差別や人権侵害、虐待の状況

問 32 お子さんが、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

問 33 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じますか。

差別や人権侵害、虐待を受けていると「いつも感じる」人はいなかったが、42.4%の人は「たまに感じる」と回答している。



差別や人権侵害、虐待の内容としては、具体的に次のような記入がみられた。

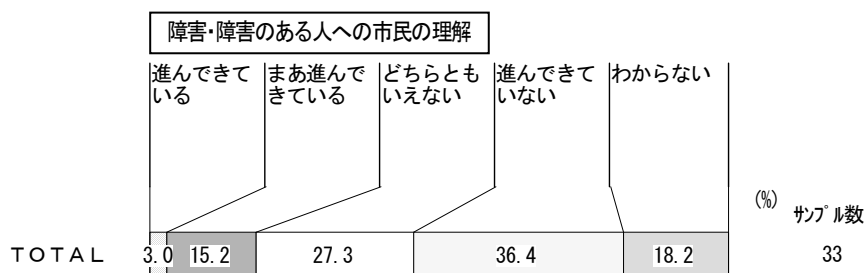
- ・ 同級生数名に「害児（障害児）」と、時々言われるらしいです。(男性・14歳)
- ・ 友人にからかわれている。(男性・8歳)
- ・ たくさんの友だちにきつく注意される。トラブルが続き、子の親たちから苦情がくる。(男性・7歳)
- ・ 露骨な無視や屈辱的な言葉を言われた時。(男性・15歳)
- ・ ごくたまに字が読めないことを、周りの子に言われて、仲間に入りづらそうなことを見かけた時。(男性・10歳)
- ・ 小学生の時、似たような子や本人の話から通級に通っていることで差別的な事を言われたと言ったのを聞いた。(男性・12歳)
- ・ 通級に行っていることで、まわりからの視線が違うとき。担任からも何か先入観を感じたとき。(男性・11歳)
- ・ 通級に通っていることを、友だちにからかわれたと子どもから聞いたとき。(男性・9歳)
- ・ 子ども同士の関係の中で、通級している事自体をからかわれたり、せっかく支援を受けることを子ども自身がためらう環境があります。昔からあることではありますが、将来的にはなくなってもらわなくては困ることだと思っています。(男性・12歳)
- ・ 学校で軽いいじめに合っています。相談して、良い方向に行くよう先生とも話し合い中です。(男性・9歳)
- ・ 先生に「お宅のお子さんに友だちがいるのが、なんできらいされないか不思議でしょうがない。子どもって寛大ですよー。」と言われた時。学校の先生からの差別が一番多い。先生たちしか差別する人に会ったことはありません。(男性・8歳)
- ・ 先生から話を聞いている時など、他の人にも同じ心配をされているのか。心配のされ方が普通の子と違うと感じたとき。(男性・13歳)
- ・ 先生が発達障害かとも思っているが「人権問題になりますから」ということでハッキリと言ってくれませんでした。その為、検査等がおくれ学校で大あばれをするまで対応ができませんでした。言わないことの方が人権問題だと思います。(男性・11歳)
- ・ 介助員の申請をしたが、受理されなかったとき。(男性・7歳)

## (2) 市民理解の進捗

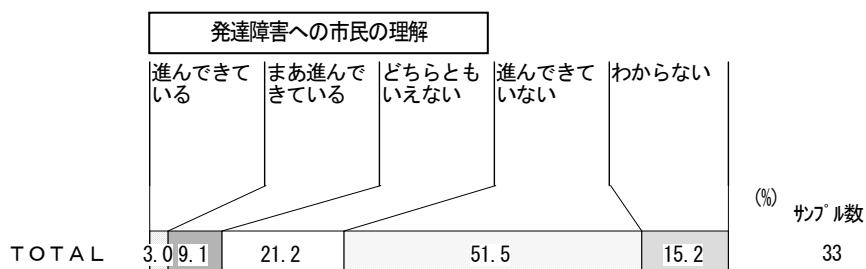
問 34 障害や障害のある人に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

問 35 「発達障害(自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等)」に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解については、36.4%の人が「進んできていない」と考えている。



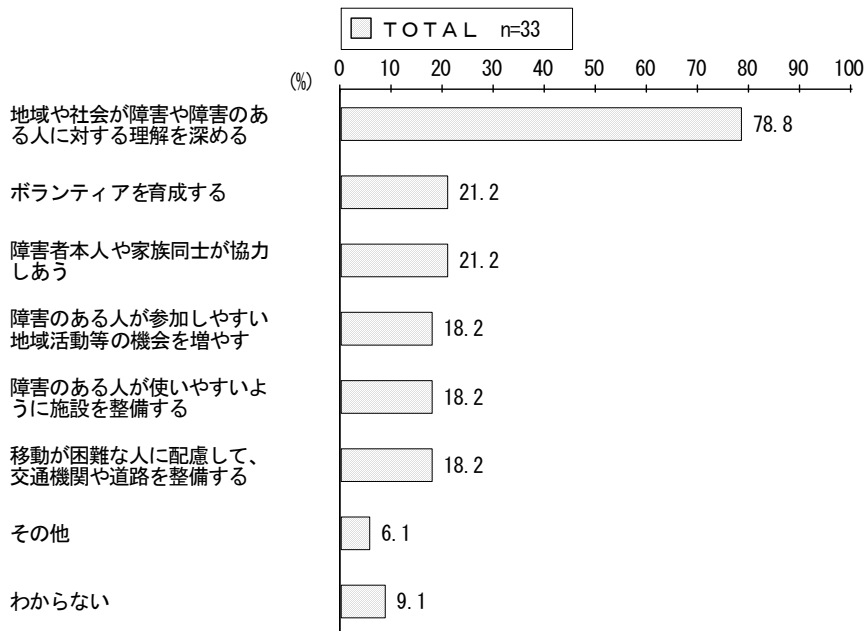
発達障害に対する市民の理解については、51.5%の人が「進んできていない」と考えている。



## (3) 障害のある人が地域や社会に参加するために大切なこと

問 36 障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために、特に大切なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

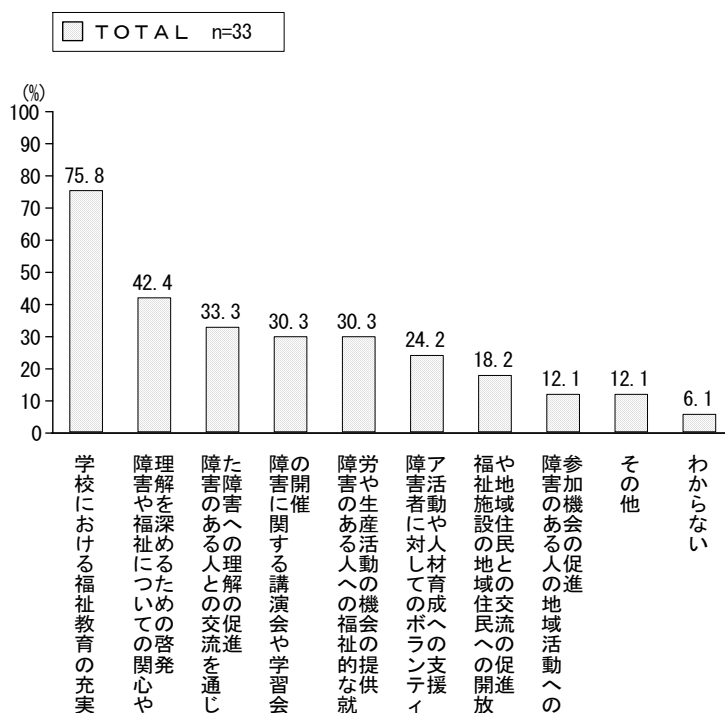
障害のある人が地域や社会に積極的に参加するために大切なこととしては、「地域や社会が障害や障害のある人に対する理解を深め」ことをあげる人が 78.8%と特に多くなっている。



## (4) 障害や障害のある人への理解を深めるために必要なこと

問 37 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

障害や障害のある人への理解を深めるために必要なこととしては、「学校における福祉教育の充実」をあげる人が 75.8%と最も多く、次いで「障害や福祉についての関心や理解を深めるための啓発」(42.4%)、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」(33.3%)と続いている。

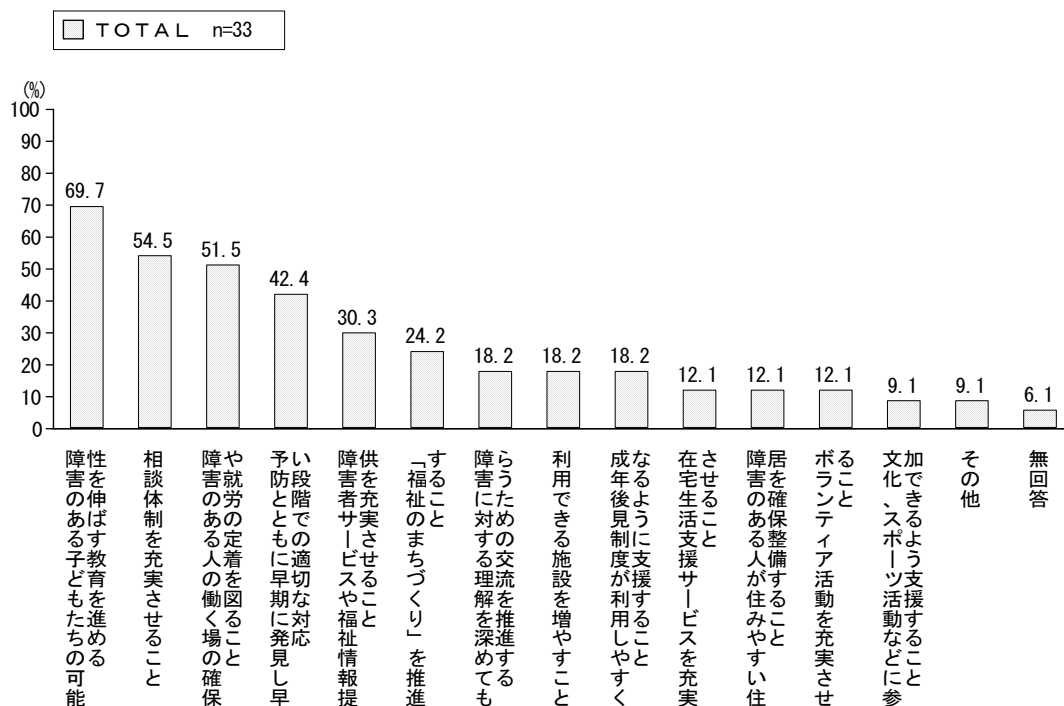


## 10 市への要望等

## (1) 充実させていくべき障害者施策

問 38 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある子どもたちの個性を伸ばす教育を進める」ことをあげる人が約7割(69.7%)と最も多い。

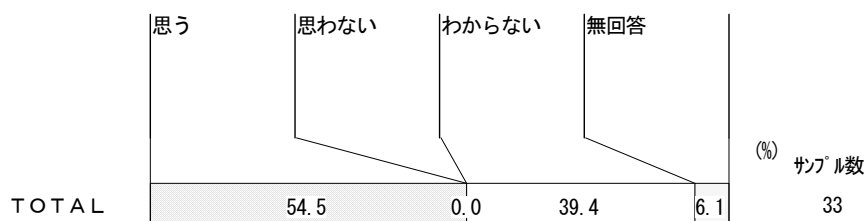


## 【通級指導学級】

### (2) 居住継続意向

問 39 今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

54.5%の人は、今後も西東京市に住み続けたいと「思う」と回答しており、住み続けたいと「思わない」という人はいなかった。



### (3) 意見・要望等

調査票の最後に、意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けたところ、次のような記入があった。

- ・ 市でどのようなサービスがあるのかの説明を受けたこともなく、自分の子どもに適切なサービスがあるのかも分かりませんでした。(男性・7歳)
- ・ 学校においては1番に先生の理解にかかっていると思います。こちらから先生にお願いすることは他の子との特別扱いではなく、支援と思っていますが、先生側としてはそんな事までとされている感じを受ける事もあります。少なくともその子を見て支援を協力しながらやっていってもらえたらと思います。(男性・12歳)
- ・ 療育、医療機関はまったくと言っていい程、西東京市にはあまりありません。(ひいらぎは幼児までなので)療育も個人差があるので1人で何ヶ所も行っている場合もあり、費用はとてもかかります。(場所は都内が多いので交通費も含め)例えば通級の放課後時間を使って、ボランティアや経験者、専門家の人に協力してやってもらう。この時は通級以外の困り事がある生徒にも活用できたらと思います。市内に早急に療育機関を作っていただきたいと思います。(男性・12歳)
- ・ 小学通級より中学で固定を選んだ親御さんの中には学力は年相応ですが固定で決まっている勉強をしなければならない事で悩んでいる人(親子とも)もいます。(男性・12歳)
- ・ 多くの人は通級ということも知らないのでもいつも説明していました。中には通級というだけで通わせたくないと思う方もいると思います。(男性・9歳)
- ・ 学校も先生も通級の先生もたった一人の為にいろいろと尽くしてくれていると私は実感しています。ただ1つだけ、障害に関係なく先生方の学校の転出、転入の多さだけが残念です。(男性・9歳)
- ・ どうしても子どもより親の方が先に死ぬのです。親がいなくなっても生きていけるよう、最低限の思いやりを市民も西東京市も持って支えて下されば幸いです。(男性・9歳)
- ・ 特別支援学級の増設、支援の充実 未診断児、グレーゾーン児へのさりげない支援→通常学級で『困っている子』を学校全体で支援できる体制(というより雰囲気)作り。(男性・8歳)
- ・ 発達障害は見た目ではわかりません。障害があると言っても信じてもらえない、それを周囲に理解させるのは身内にさえむずかしい事なので、アカの他人には無理でしょうね。手帳も持っていないグレーゾーンの子ですから、親としても普通に接してしまい日々お互い上手く行きません。私達が「普通」にできてしまう事を「困難」と思い生活している子です。何をするにも人1倍時間・お金・協力がまんが必要です。(男性・8歳)
- ・ 東大和の東京小児まで月1回お薬をもらいに行くのもパートを休み1時間かけて行っています。通級もパートを早退し送迎です。雨、冬の日下の子を連れて通うのも大変ですし、ファミサポだって有料ですよね?チケットなどで無料で何度か利用できませんか?通級のバス代だって、子どもの分しか払ってくれませんよね?親の分も頂けませんか?(男性・8歳)
- ・ 発達障害だと明らかに分らないグレーゾーンの子どもに対しては親も在籍校の先生も「(通級は)必要ないのでは?」と思いがちだと思います。自分の子が発達障害だと思ってもせず、ただ手のかかる変わった子と思い込みで育ててしまい、小2で通級に通うまでつらい思いをさせ、後悔していま

す。幼稚園に通っていた頃にこのような場があること、学校へ行って困りを感じる子どももいることを知っておきたかったと思います。(男性・11歳)

- ・ 学校で「困りを感じているな」と思う子に出会う度に受けられるケアを受けられていないのでは、とせつなくなります。周囲の人も学校の先生もデリケートな問題だけに言いづらくなるのは仕方ないのですが、通りいっぺんの案内を配布するのではなく、もっと具体的な中身の分かる案内を配るなどしていただきたいです。親にとっても知る機会が少ない「高次脳機能障害」をもっと身近に感じてもらえればいいなと思います。(男性・11歳)
- ・ 皆、どこかに相談をして通級へいっています。相談する窓口や相手はいるのです。むしろ自分の子どものこれからのライフステージでの具体的な支援を、必要としているのだと思います。中学校にサポートするエキスパートの設置、高校での学習内容が就職をきちんとできるものにして欲しいなど。そういう声をもっとひろって、基本計画内にちりばめて欲しい。(男性・10歳)
- ・ 自治体サービス全般は、こちらが働きかけないと、なかなか機能しないように思う。計画書も閲覧できることになっているが、こちらが休みの曜日・時間は役所も休みで、いつ行っても見れば良いのでしょうか？ホームページでの公開などをもっと行なって欲しいと思います。(女性・11歳)
- ・ 発達障害は他人には理解されにくく、まだ新しい障害で年配の方々にはさらに理解してもらえません。学校の教育を通して子ども達から理解を深めてもらえれば将来もっと住みやすい街になると思います。(男性・9歳・ある)
- ・ グレーゾーンと言われる子どもへのサービスを充実させてほしい。学童に行かせても、親が休みだとあずかってはくれない。親も休みたいときがある。(男性・8歳)
- ・ ヘルパーとか、使えたら通院をたのめるのに誰にもたのめなく、親の負担が大きい。(男性・8歳)
- ・ 軽度発達障害の子ども達の多くは手帳が取れません。手帳を持っている人しか参加できない障害者対象のサービスが受けられず、習い事なども理解のある所をさがすのが大変です。学校も普通学級では、難しく先生も忙しすぎてゆとりがありません。(男性・11歳)
- ・ 支援学級では発達障害の子に適した教育がされていません。支援学級へ行くと高校へ行く事が難しくなり、手帳のないまま不安定な状態に置かれます。療育センターもいつも一杯で、頼りになるのは通級の先生だけです。小学校では、たとえ軽くても学習支援員の先生がいらっしやると助かります。有料で良いと思いますのでもう少しわくを広げていただきたいです。そして軽度発達障害の子の可能性を広げる為に中学での支援を充実させていただきたいです。(男性・11歳)
- ・ 先生達が少しでも子どもと向きあえる様に、クラスの人数を少なくする、行事を減らすなどの工夫が必要だと思いました。又、発達障害を持つ子の親は精神的にとっても大変です。手帳がなくてもレスパイトサービス（有料でかまわないので）があると良いです。(男性・11歳)
- ・ 子どもは学校の給食をほとんど食べる事ができません。去年は担任の先生も、どうしたら食べようという気持ちになるか考えて下さいました。ところが3学期になり校長先生が、給食だけで偏食は治せないと言われました。今年は、偏食は家庭で対応するので、給食では食事の時間がストレスにならないよう、食べられるものを食べさせて、野菜や果物等に少しでもチャレンジした時は誉めて欲しいとお願いしました。5月まではスープ、野菜を全く食べなくてもおかわりできていました。6月になった時、クラスで山もおかわりした児童がいたとかで、給食のルールがかわり、子どもはスプーン一口、野菜一口食べないとおかわりできない事になってしまいました。担任の先生に「食べられる物が出た時くらいは、お腹いっぱい食べさせたい」と申しました。返事は「お腹すいているなら、食べたらいいいじゃないですか。野菜、汁物、沢山ありますよ」でした。発達障害への理解がまだ行き届いていない状況がよく分かりました。バランスよく食べる事は大事なのは分かります。でもそれができなくて苦しんでいる子どもの気持ちも察していただきたいと思います。(男性・8歳)
- ・ 学校へ入学してからアスペルガーとわかり、低学年では付き添いをしていましたが、親の付き添いがなく普通学級に通えれば、それにこしたことはないと思います。特別支援学級が知的の情緒別学級でそれぞれに合った指導が受けられるなら、そちらに通わせても良かったのですが、中学の特別支援学級では知的指導の中で情緒の子にも対応している様子で、全く意味が見出せません。知的には問題なく、行動面での指導が必要な立場の子は適切な学校がないといってよい状態です。(男性・13歳)
- ・ 障害、障害と言っておりますが、外見だけの障害が障害だと思っていますか。本当に障害者の気持

## 【通級指導学級】

ちが分かりますか（障害と言われた気持ち）。軽く言うのは間違いです。軽く言われてどれだけ傷付いたか分かりません。（男性・11歳）

- ・ 学校、教育委員会、カウンセラー、通級、もっとコミュニケーションを取り、それぞれの知識を共有し、その人に合う指導をするべきです。何かうまくまわってない気がします。学校の先生はもっとこれからこういう指導を理解し、勉強し安心して子どもが過ごせるように取り組んでいただきたいです。今は不安で仕方がないです。（男性・11歳）
- ・ 現在の西東京市では通級入級の審査がきびしく、幼年時にひいらぎに通っていた仲間や近所のお子さん等、通級の入級が認められず、固定級への決断も難しく、支援を受けられない状況にある方を複数見かけます。私が通院している専門の病院の医師の話からも現在、西東京市は特に厳しいと感じます。通級への間口を広げてほしいと感じます。（男性・7歳）
- ・ 愛の手帳のでない広汎性発達障害、高次脳機能自閉症の子どもは、病院でも多くの場合、療育により適応することで一般就労を目指すようにと求められます。都立高校への進学と考えると普通学級にこだわらざるを得ない事情もあります。将来、幅広い進路を望める情緒固定級があれば良いのですが。（男性・7歳）
- ・ 自閉症などの発達障害のための手帳が作られることを望みます。（男性・7歳・ある）
- ・ 発達障害に限らず、教室での支援の必要な子どもには支援の手が差し伸べられるようになってほしい。そのために補助担任の制度を充実させてほしい。でなければ、介助員の枠を広げてほしい。現在の教室では、先生の手が足りなくて、先生、子どもたちの負担が大きすぎると思えます。（男性・7歳）
- ・ 学校の先生の不理解がまだまだあるように思います。まずは先生方に発達障害への理解と配慮方法の周知。配慮が特別なことではなく、その子だけでなく、周りの子ども達にも有効であることを学んでいただきたいです。小学校では、少人数クラスの早期実現をし、先生一人で見える子ども数を減らし、目の行き届く体制をお願いします。（男性・12歳）
- ・ 先生の心無い一言でクラス皆の通級生への見方を悪い方向へ向けてしまったり、いじめを助長している事が「よくあること」であることがとても悲しいですし、子どもも支援を受けたくないと思ってしまう原因になっていることを早急に改善してほしいです。（男性・12歳）
- ・ スクールカウンセラーなど曜日限定ではなく、毎日にしてほしい。（男性・9歳）
- ・ 病院に行かない又はいけない人がハードルの低い場所で話を聞きたい、愚痴を言いたいというのはあると思う。そういう相談機関は夜9時くらいまであいてほしい。（男性・9歳）
- ・ あきらかな障害が外見上わかる方には、周りの眼もやさしいし、援助があると思うけど、グレーゾーンの児に対しては、まだまだな部分があると思う。こんな子もいるんだなって社会が知ってくれば。（男性・9歳）
- ・ 学校での先生方は忙しそうで「話をしたい」と言っても「時間がない」と断られたりしました。通常級での支援や配慮は担任の先生によって天国にも地獄にもなります。どうか、先生による対応の差が少しでもなくなる様に、現場体制を、足元をしっかりと見直していただきたいです。個人的にですが、先生から人権にかかわる様な言動を受け、現在学校へ行くのが恐怖です。（男性・8歳）
- ・ どうしても勉強が遅れがちです。家庭でのフォローはもちろんしていますが、姉妹もいるので当人だけを見ているには限界があります。塾などに入っても学校とあまり変わらないので効果があるようには思えません。当人の困り感を十分に理解している先生から放課後に週に1、2度、1時間くらい苦手な部分だけでも相談したり、フォローしてもらったりできると助かります。（女性・8歳）